

ENGLISH

語順トレーナー

-目次-

【1】 はじめに	1
【2】 一般動詞の6つの変化	2
【3】 品詞の色分け	3
【4】 助動詞の4つの変化	4
【5】 5文型	5
【6】 I+命令形	7
【7】 名詞前後の a と s	8
【8】 名詞の特徴付け	9
【9】 考え方	11
【10】 名詞の整理と代名詞による分類	13
【11】 前置詞	14
【12】 5文型を再び	17
【13】 疑問文の作り方	18
【14】 時間の流れ	20
【15】 単語の成り立ちと横書き	21
【16】 おわりに	22

【1】はじめに

はじめまして、灰野茂と申します。

“Hello! I am Shigeru Haino.”

ENGLISH 語順トレーナーについて、ご説明いたします。

英語の品詞を色分けし、語順について、カード並べや積み木の組み立てを通じて、楽しく学べる教材です。

動詞・副詞・形容詞・冠詞・名詞・前置詞・接続詞・代名詞・疑問詞を色分けし、手を使って、これらを入れ替えたり、回す事によって、英語の語順を学習します。

「私は、花が、好き。」は、「私は、好き、花が。」「好き、私は、花が。」「好き、花が、私は。」「好き、私は、花が。」「好き、花が、私は。」と日本語では、6通りの表現ができます。英語では、“I like flowers.”の1通りしかありません。私達は学校で、英語を日本語に訳す方法を学んできました(英語→日本語)。この逆(日本語→英語)で、英語を話そうとするのですが、語順の知識がないために話せない。これが、日本人は英語ができない一番の理由だと思っています。

しかし、今は、英語ができないかもしれません。でも、トランプのように色分けされたカードをルールに従って並べる事はできるでしょう。そうすれば、英語ができるようになる発想で、この ENGLISH 語順トレーナーを作りました。

アイデアが浮かんでから約16年経過し、この間、アドバイスを頂いたり、試したりして、使えるまでに成りました。でも、まだ、この教材に対し、皆さんから。アドバイスを頂き、より良くしたいと思います。

アメリカの子供達が、どういう順序で英語を学ぶのかが、大変参考になりました。彼ら・彼女らは、いきなり英語を話したのではありません。親からしつけされ、Wake up(起きなさい)や Go to bed(寝なさい)などの動詞を中心として命令形を身体で覚えます。私は、これ(命令形)にIを加える(I+命令形)。日本人は、I=私を言いません。「私が○○。」を連発すると出しゃばりになります。しかし、英語で多く使われる主語はIです。また、「私、僕、俺・・・」と話す相手によって自分を変化させますが、英語には、これに該当するIの変化は、英語にはありません。社会的な状況や歴史が異なります。

また、私は、Iは、ローマ数字(I、II、III・・・)のIから来ていると思います。英語は文字(アルファベット)の算数だと思います。英語⇄国語ではなく、英語⇄算数だと思います。この感覚を説明を通じて、お伝えします。

2018年6月23日

【2】一般動詞の6つの変化

一般動詞は、6つに変化します。

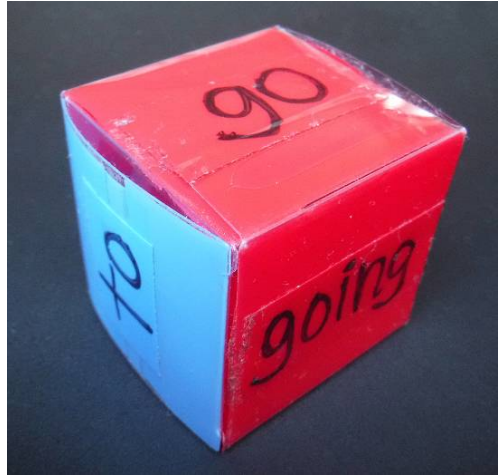
現在形・現在分詞・過去形・過去分詞・不定詞・主語が三人称単数時のS。

これらを立方体(写真はゴルフボールケース)に書きました。

材質について、麻雀パイなどのような物を検討しましたが、かさばります。これは折りたためるので、スペースを取らず、very good です。

下記は GO の例で、左が展開図で、右がその写真です。

to	go	goes
	going	
	went	
	gone	



一般動詞の変化は、他の動詞も同じです。

現在形	現在分詞	過去形	過去分詞
feel	feeling	felt	felt
take	taking	took	taken
give	giving	gave	given
make	making	made	made

ここでは、中学校で習う文法を色分けやブロック、カードを使って、説明します。

文法の話は、教科書や参考書、今ではインターネットにたくさん記載されていますので、これらを参考にしてください。

【3】品詞の色分け

品詞を以下に色分けしました。

空に虹がかかり、雲が流れているイメージです。

動詞		黒文字:一般動詞 白文字:助動詞
副詞		
形容詞		
冠詞		
名詞		
前置詞・接続詞		黒文字:前置詞 白文字:接続詞
代名詞		
疑問詞		



裏面について、カードには、動詞の表に現在形、裏に過去形。冠詞 a の裏に名詞の複数を示す s。代名詞 I の裏に三人称単数の動詞に付ける s が書かれています。その理由は、のちほど説明します。

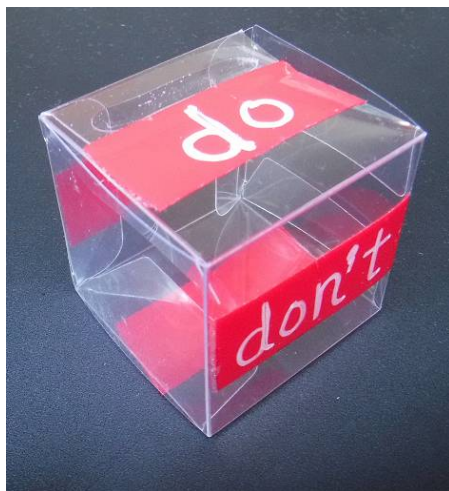
【4】 助動詞の4つの変化

助動詞は4つに変化します。

現在形・現在否定・過去形・過去否定の4つに変化します。これらは、主語と入れ替えて、疑問文を作ります。よって、 $4 \times 2 = 8$ 通り。

下は DO の例です。

	do	
	don't	
	did	
	didn't	



同じ変化をするのは以下です。一般動詞と分けるため、文字を白にしました。

(助動詞)

must	will	shall	can	may
------	------	-------	-----	-----

(BE 動詞)

am	is	are
----	----	-----

(一般動詞)

do
does

(完了形)

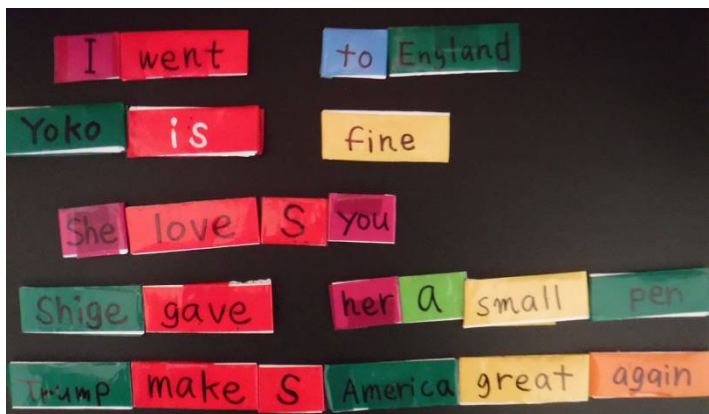
have
has

【5】 5文型

色分けされた単語を語順のルールに従って並べます。

Sは、三人称単数の動詞に付けるために設けた通りです。

	S				
第1文型	S	V			
第2文型	S	V		C	
	S	V		C	
第3文型	S	V		O	
第4文型	S	V		O	O
第5文型	S	V		O	C
	S	V		O	C



カードを手を使って並べる事によって、動作を通じて脳にインプットさせます。

例文を覚えた後は、エクセルシートを使って応用させます。

第1文型

I	went	to	America
			England
			Osaka

第2文型

Yoko	is	fine
		happy
		angry

第3文型

She	loves	you
		Toyota

第4文型

Shige	gave	her	a	candy
			some	candies

第5文型

Trump	makes	America	great	again
Ochiai	made	Dragons	strong	

【6】I+命令形

第1文型で、動詞 GO、COME、LIVE、RUN、・・・は自動詞と言われ、これ1つでも意味をなします。しかし、GET は、補語や目的語になる形容詞、名詞を取らないと意味をなさず、これを他動詞と言います。

自動詞の次に来るのは、副詞、又は、前置詞を挟んで名詞(副詞句)になります。

Go	slowly	
Go	to	America

自動詞の後は、橙色、又は、青を挟んで緑。

そして、その先頭にIを付ける。

I	go	to	India
---	----	----	-------

これで完成。そして、この文を Can と? を使って挟むと、疑問文の完成です。

Can	I	go	to	India	?
-----	---	----	----	-------	---

手を使って、単語を組み立てる事で、英文の構造が解かりやすくなります。

“I love you.”は OK。でも、“She love you.”は NG。三人称単数が主語の時は、動詞の現在形の後ろに s が必要です。この付け忘れ防止のために考えたのが、このアイデアです。I のカードの裏に s が書いてある。自分(I)以外の単数が主語の時は s が動詞の後に付く。

表	裏
I	S

このルール(動詞+s)によって、単数を意識する事になります。

I	love		you
↑			
She	love	s	you

【7】 名詞前後の a と s

日本では、鳥を数えるには1羽、2羽。本は1冊、2冊です。英語では、a bird か birds、a book か books。また、日本では、鳥が何羽いても鳥達とは言いません。しかし、英語では、ウグイスが1羽でホーホケキョと鳴いている時は、“A bird is singing.”、スズメが数羽で鳴きかわしている時は、“Birds are singing.”で、対応するBE動詞が違います。美人を見た時も、A woman に beautiful を挿し込んで、A beautiful woman でAが先頭に来ます。単数を意識しています。本が数冊なら books、1冊なら a book。つまり、名詞 book の前後に、1冊なら a が前に付いて a book、複数(2以上)なら s が後に付いて books。

a	book	
	book	s

a の裏に s が書いてあり、それをひっくり返す発想です。

表	裏
a	s

water や wine、sugar や rice は、形が定まっておらず、a 又は s は付きません。これらの名詞を不加算名詞といいます。形ある物に of でつないで加算化します。

a	cup		of	coffee
two	glass	es	of	wine
five	liter	s	of	water

私は、BE動詞の3つを次のように解釈します。

am	a man	1人間
is	1 s	1個体
are	a re	1戻せ

“I am Shige.”は「私、1人間、シゲ。」、“She is Yoko.”「彼女、1個体、ヨーコ。」、“We are Yoko and Shige.”「私達(という複数)を、1に戻したら、ヨーコとシゲになります。」という発想です。

【8】名詞の特徴付け

2本のペンがある時、その色が緑と青なら、“Two pens are a green pen and a blue pen.”と表現できる。普通は、“They are green and blue.”ですが、これでも OK。

Two pens are a green pen and a blue pen.



赤いペンでも、長いと短いの特徴があれば、“Two red pens are a long red pen and a short red pen.”と表現できます。

Two red pens are a long red pen and a short red pen.



このようにして、名詞の前に形容詞を付けて、名詞を特徴付ける。
これにも語順があり、客観的(誰もがそう思う)が名詞に近く、主観的(人によってはそう思わない)が名詞から遠くなります。

		主観的 ←————→ 客観的									
冠詞	数	副詞	評価	新旧	大きさ	形状	色	出所	材質	名詞	s
a							red			pen	
a				new	large		black			car	
	three		pretty					Japanese		girl	s
a		really	cute		small		pink			dress	
	five						gray		steel	desk	s
	ten						brown		wooden	chair	s
	two			old		round				table	s

前ページでは、名詞の前に冠詞を付けて、その間に、副詞・形容詞を挟む語順について説明しましたが、後付けをする方法もあります。

名詞の前に

①	冠詞付け	a				pen
②	形容詞挿入	a			yellow	pen
③	形容詞2つ挿入	a		long	yellow	pen
④	副詞挿入	a	really	long	yellow	pen
⑤	所有格付け	her				pen

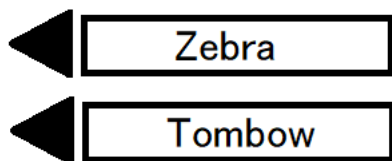
名詞の後に

①	前置詞付け	a	pen	on	the	desk
②	現在分詞付け	a	pen	rolling	down	
③	過去分詞付け	a	pen	made	by	Zebra
④	関係代名詞付け	a	pen	which	I	bought

これにて、例えば、a pen on the desk を1つの名詞の塊としてとらえる。緑のマーカが引ける **a pen on the desk** ようになるのが、長文を読む時の鍵です。

日本語には、漢字という意味が凝縮した表現がありますが、英語で、物事を詳しく説明しようとする文字が増える事になります。

Two pens are a pen made by Zebra and a pen made by Tombow.



3つの BE 動詞は、名詞を1にすると考えた時、英語は算数に近い表現だと感覚が変わります。そして、1文字で意味が成り立つのは、Iとaしかありません。my は2文字、our は3文字です。Iとaの裏にsが書いてある。このルールに従うと、強制的に数を意識する事になります。

【9】 考え方

Iとaを出発点として、文字を左から右へ走らせて、その1文の縦軸の単語を入れ替えて、別の表現を作り上げる。そして組み合わせや単語の変化を立面で整理する。

- ・点(1文字で意味のある文字=出発点)



- ・線(1次元)



文字が左から右へ走って英文を作る。

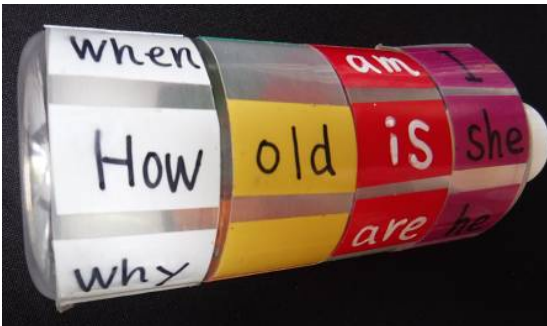
- ・面(2次元)



単語を上下に入れ替えて別の英文を作る。



- ・立面(3次元)



回す。

・時間経過(4次元)

I	know	Taro		
I	knew	Taro		
I've	known	Taro	since	2002

動詞は表が現在形、裏が過去形になっていて、これで時間経過を学ぶ。

カードや積み木で英文の構成を学んだ後は、エクセルシートを用います。

・第3文型

I	play	tennis		
		baseball		
				sports

↓

Q) What sports do you play ?

A) I play kendo

スポーツをイメージして、答えを用意する。

・第1文型

Ken	lived	in	Nagoya	
			Seto	
				city

↓

Q) Where did Ken live ?

Q) What city did Ken live in ?

A) He lived in Toyota

何市(場所)を思い浮かべて、答えを用意する。

【10】 名詞の整理と代名詞による分類

名詞を同じカテゴリーに整理します。WHAT・WHICH と一体になる単語です。

animal	fruits	country	team
↓	↓	↓	↓
elephant	apples	Japan	Carp
rabbit	bananas	England	Tigers
panda	melons	America	Baystars
cow	orenges	China	Giants
lion	grapes	France	Dragons
horse	lemons	Germany	Swallows
deer	peaches	Italy	Hawks
bear	cherries	Canada	Lions
fox	mangos	India	Eagles
monkey	limes	Thailand	Buffalos
tiger	coconuts	Indonesia	Fighters
pig	nuts	Iran	Marines

話の中で、再び名詞が登場する時、同じ事を言いません。代名詞を使います。

a beautiful woman は her、a radio made by Sony は it です。名詞は、代名詞によって分類されるとき、単数は、自分以外に3つにしか分類されません。

me	自分
him	哺乳類の雄
her	哺乳類の雌
it	上記以外の単数

男性の上司と雄の野良猫、天皇陛下も同じ him で扱ってよいのです。

複数は、客観的に定義ができず、複数に自分を含むのか含まないのかで表現が変わります。それが結え、英語は自己中心の表現であると言えます。

us	自分を含む
you	自分を含まない
them	自分を含まない

【11】前置詞

前置詞は、名詞と名詞を結んだり、動詞に続いてフレーズを作ったり、形容詞の後に入って名詞が続きます。語順を学ぶ上で大変大事な品詞なのですが、中学校で前置詞を教えていません。これは日本の英語教育の欠陥だと思います。

アメリカでは、物や人形を使い、前置詞はそれらの関係を示す事を教えています。私は、まず、物と物の関係を教えたいと思い、この道具を考えました。

A on B on C



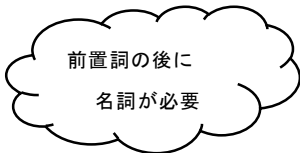
A on B in C



前置詞は、2つに分けました。

第2文型にて、前置詞＋名詞の形を取るもの、前置詞のみでOKのものです。

I	am	with	Tom
I	am	off	



about	around
among	away
at	behind
by	down
for	in
from	off
into	on
near	out
of	over
to	through
with	up



前置詞は、動詞と結び付いて、フレーズを作ります。それには3つのパターンがあります。

(1) 自動詞 前置詞 名詞

(2) 自動詞 副詞

(3) 他動詞 副詞 名詞
 他動詞 名詞 副詞
 他動詞 代名詞 副詞

例文は次です。

(1) go to Korea
 come from Tokyo
 live in Japan

(2) go on
 come on

(3) throw in the ball
 switch off the radio
 pick up Yoko

throw the ball in
 switch the radio off
 pick Yoko up

throw it in
 switch it off
 pick her up

14ページの with you や off は形容詞、15ページの on, in, off, up は副詞です。これらは方向性を持ちます。on(上へ)、in(中へ)、off(外れて)、up(上げて)。また、他動詞＋名詞＋副詞の形はOKですが、他動詞＋副詞＋代名詞の形はNGです。

○→	throw	it	in
×	throw	in	it

これは、第4文型、第5文型の流れを受けて、他動詞＋代名詞(目的格)の後に、名詞(第4文型)、動詞・形容詞(第5文型)があるに加えて、副詞(第3文型)のパターンもあるよと考えます。

第3文型	他動詞	代名詞	副詞
第4文型	他動詞	代名詞	名詞
第5文型	他動詞	代名詞	動詞
	他動詞	代名詞	形容詞

自動詞と他動詞の違いは、後に名詞(目的語)を取るか取らないかです。他動詞は目的語が主語になる受動態が作れますが、自動詞は作れません。他動詞には、主語と目的語にする・されたの関係がありますが、自動詞はする・されたの関係はありません。

I went to America.→私が行ったのであって、アメリカは行かれたのではない。

I took her to America.→私が連れた、彼女は連れられた。

ので、受動態が作れます。

She was taken by me to America.

目的語が主語になり第2文型として扱い、taken(過去分詞)を形容詞とします。

She was taken by me to America

I took her to America

こうする事で、形容詞＋前置詞＋名詞のフレーズが解かり易くなります。

例えば、その他、以下の英文です。

I am interested in English.

She was satisfied with the result.

【12】 5文型を再び

5ページで示した5文型に、次の3つを加えて、この形を基本にして、勉強します。

- (1) 第1文型に前置詞＋名詞のフレーズ(主に場所)
- (2) 第2文型に形容詞(過去分詞)＋前置詞＋名詞のフレーズ(受動態)
- (3) 第3文型に代名詞(目的格)＋副詞のフレーズ(プレーザルバーブ)

S					
第1文型	S	V			
	S	V		前置詞	名詞
第2文型	S	V		C	
	S	V		C	前置詞
	S	V		C	名詞
第3文型	S	V		O	
	S	V		代名詞	副詞
第4文型	S	V		O	O
第5文型	S	V		O	C
	S	V		O	C

ここで、第3文型、第4文型、第5文型の目的格を挟んだ英語を日本語で次の様に補助すると、解かり易くなります。

- ・第3文型: ○○を、○○へ(方向へ)←副詞
- ・第4文型: ○○に、○○を(物事を)←名詞
- ・第5文型: ○○を、○○に(状態に)←形容詞
- ・第5文型: ○○を、○○に(動作に)←動詞

【13】 疑問文の作り方

次の手順で疑問文を作ります。

- ①通常の文を作る。 I pick you up at 9.



- ②IをYouに、youをmeに変える。 You pick me up at 9.



- ③先頭にDoを、最後に?を置きます。 Do you pick me up at 9?

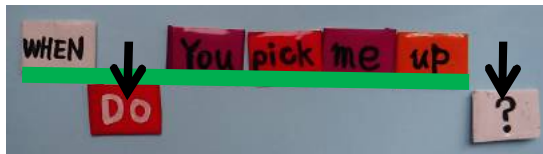


- ④at 9を取って、先頭にWhenを置きます。 When do you pick me up?



これで完成。

更に、これから、Do と?を除くと、名詞節になる事を覚えましょう！



When you pick me up は名詞で、Tell me **when you pick me up** と表現できます。

When を Where と How に変えても OK。

このように、手を使った作業を通じると、英文が脳にインプットされ易くなります。
このアイデアについて、アプリを作ったらどうかとも言われましたが、大事な事は、英文作成は単語を組み立てる作業であり、その順番、つまり、語順の習得です。

疑問詞は8つあり、次の2つに分けました。

WHO・WHAT・WHICH・WHOSE → 名詞・動詞の質問

WHERE・WHEN・HOW・WHY → 形容詞・副詞の質問

これに、今は使われていない WHOM と、関係代名詞の説明のための THAT を付け加えています。

	WHO	(WHOM)
--	-----	--------

THAT	WHAT
------	------

WHICH

WHOSE



	WHERE	
--	-------	--

WHEN

HOW

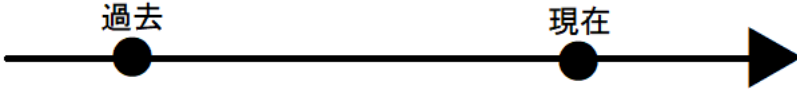
WHY



【14】時間の流れ

カードの裏表ですが、Iの裏にはsが、aの裏にはsが、そして、動詞の現在形の裏には過去形が書いてあります。形容詞にて、反対になる単語、例えば、newの裏にoldも考えましたが、youngの裏もoldになり、明確化できないため、裏表の利用をしていません。

動詞には、現在形と過去形が明確であり、それを結ぶ事で、時間の流れを考える。

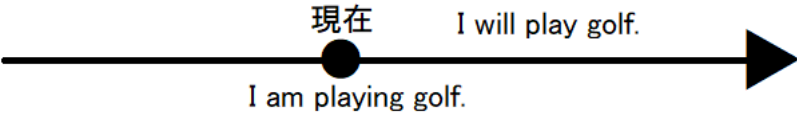


完了形は、過去と現在を結ぶ表現です。

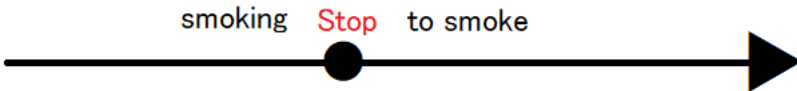


I have known him since I was a child.

will はこれからやる事で、進行形は過去からやっている事です。



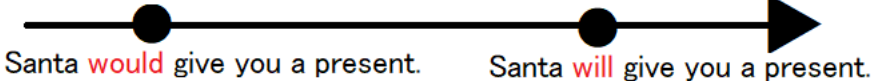
動名詞は過去で、不定詞は未来です。Stop smoking は、(これまで)吸っていたのを止める。Stop to smoke は、(これから)吸うために止まる。



仮定法にて、仮定法現在 :If you are a good boy, Santa will give you a present. は、いい子なら、サンタさんはあなたにプレゼントを上げる意思あり。仮定法過去 :If you were a good boy, Santa would give you a present. は、いい子**だった**なら、サンタさんはあなたにプレゼントを上げる**意思があった**のに。

If you **were** a good boy,

If you **are** a good boy,



完了形や仮定法を日本語で理解しようとするとうまくいきません。英語では、過去と現在がはっきりしており、それを結んだ時間の流れを考えると解かり易い。

【15】 単語の成り立ちと横書き

英語は日本語とは違います。abcdefghijklmnopqrstuvwxyz の26文字の足算で単語が構成されています。しかも、それは左から右へ横書きされます。そして、それらは、接頭語や接尾語を加える事で表現を増やします。



どうやら、我々、日本人は、英語を日本語と同様に考え、横書きされた英文を縦に読んでいるようです。以下の文を縦に読んでみて下さい。今までの英語のリズムに合いませんか？ 試しに顔を縦に振って下さい。



I like flowers.

それでは、次に、横に早く読んで下さい。試しに顔を横に振って下さい。英語のリズムに合いませんか？

I like flowers.



違いに気付きましたか？

英語は九九のリズムに近く、この処理をする脳の部分を使っていると思います。

【16】 おわりに

自分の考えを走るようにして書きました。

もう少し、ゆっくりと解かり易く説明したい。実際に会いながら、また、ネットを経由して説明もできます。

日本人は、身の周りを英語で何と言うかを既に知っています。あとは、語順に従って表現するだけで、この訓練がされていません。それを補うのが、品詞を色分けした語順トレーナーです。カードだけでなく、ブロックにして関連する単語を整理したり、エクセルシートで応用したりします。

歴史的に英語教育は、明治維新にて欧米に追いつけ追い越せで、英語を日本語に訳す方法が元で、これを始めたのが、ジョン万次郎(東大の総長)や福沢諭吉(慶応大学の創始者)です。それ以来、英語の教え方は変わっていません。加えて、太平洋戦争があり、鬼畜米英にて、英語表現を禁止した経緯があります。

今、インターネット時代に入り、英語が世界共通語になる。キーボードが、アルファベットから日本語やハングル文字、アラビア語に変わる事はないでしょう。その中で、今のやり方で、日本人の英語力はUPしないと思います。

右の写真は、私が中学生(1970年代)の頃に、The Beatles の Help のレコードを友人から借りてカセットテープに録音した曲のラベルです。その当時、“I need you”を「アイ・ニード・ユー」と書いている事を示したくて載せました。ここには、「・」を入れて、あたかも単語と単語の間にスペースがあるようですが、外人には、“Ineedyou”でスペースがないのだと思います。ここが聴き取れない要因になっています。英語の教え方を変えねばなりません。

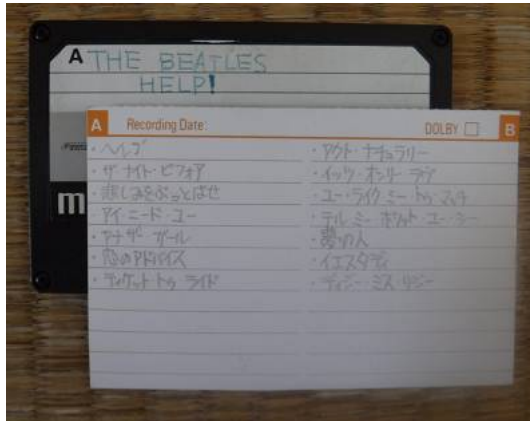
英語は、自分が表現の中心になっており、ここに気付く事が、まずもつての出発点です。それと数の感覚が表現の中に入っている。これは、1文字で意味のある単語は、Iとaしかない。これで証明されます。そして、その裏にsが書いてある。つまり、言葉は、26文字の足算で増える。この感覚で、算数に近い、そして、九九で養った脳を使う、九九のリズムで表現していけば、英語表現を獲得できると思う。そのための努力する。英語がしゃべるといいなあで終わらない。野球が上手になりたい。ギターを弾いてみたい。誰でも思う事はできる。大事なのは、日頃の練習や訓練。私は、その練習や訓練を効率的に効果的に教える事が出来ます。

このアイデアを使って、一緒にやりましょう！！

あなたの英語力をUPさせる自信があります。

“Let’s begin!” “I am ready for you.”

この小冊子は、2018年10月7日の末野原ふれあいまつりに提供される。



ENGLISH 語順トレーナー

発行 2018年10月1日

著者 灰野 茂

発行 一粒書房

無断複写転載禁止

実用新案登録済(登録第3205082号)



Written by Shigeru Haino